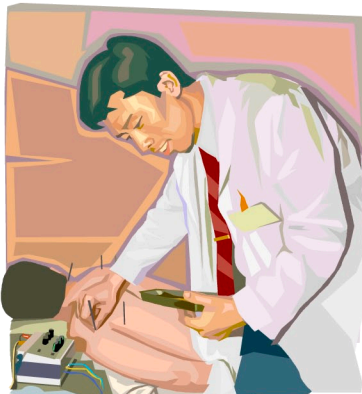


考取一个资格 (21) “针灸大夫、灸术大夫”

大家是否接受过针灸或灸术治疗呢？或许在此无需重做说明，所谓针灸大夫、灸术大夫，就是通过用针刺、或用灸暖经穴来治疗疾病



的人。中医认为此类用针或灸所作的治疗，对头疼、肩凝重、失眠等各种症状都具有缓解作用，而且这类治疗方式也引起西医有关医疗机构的关注。

近来，作为癌症、心脏病及过敏症的治疗方法，针灸和灸术所具备的去除疼痛、缓和症状的功效，也开始受到医学界瞩目。

针灸大夫或灸术大夫的工作单位，多为专设的治疗所、医院或福祉设施。也有的人工作数年后，独立出来私人开业。

※针灸大夫、灸术大夫一般被称为“针灸师”。

<想要成为针灸大夫、灸术大夫的话>

1) 首先，必须拿到指定培训设施（3 年以上）的毕业证书，才具备考试资格。

尽管一部分大学设有此类培训设施，但基本上都需要上专科学校。有关详细事宜，敬请浏览公益财团法人东洋疗法研修考核财团网页上登载的咨询单位。

http://www.ahaki.or.jp/rel_school.html

2) 其次，参加针灸大夫、灸术大夫考核并通过的话，就可以拿到资格。

针灸大夫与灸术大夫考核，并非一样，但据说几乎所有的人，都同时接受这两种考核。※此外，在中国拿到的资格及相关工作经验，不会成为在日本拿资格时的参考，敬请注意。

資格を取ろう(21)「はり師、きゅう師」

みなさんは、鍼や灸をやってもらったことがありますか。ここで改めて説明するまでもないかもしれませんが、はり師、きゅう師は、ツボ（経穴）を鍼で刺したり、灸で温めたりして、病気を治療します。東洋医学では、このような鍼や灸を使った治療は、頭痛や肩こり、不眠症など様々な症状に効果があるとされていて、西洋医学の医療関係者からも注目を集めています。最近ではがんや心臓疾患、アレルギーなどに対する治療法として、痛みを取り除いたり、症状を和らげたりする効果も注目されています。

勤務先としては、鍼や灸専門の治療院、病院、福祉施設などがあります。数年勤務した後、独立して開業する人もいます。※はり師、きゅう師は、一般的には「鍼灸師」と呼ばれています。

<はり師、きゅう師になるには>

1) まず、指定された養成施設（3 年以上）を卒業し、受験資格を得ます。

養成施設は、一部の大学にもありますが、ほとんどが専門学校です。詳しくは、公益財団法人東洋療法研修試験財団のホームページに掲載している問い合わせ先をご覧ください。

http://www.ahaki.or.jp/rel_school.html

2) 次に、はり師、きゅう師の試験を受けて合格すると資格が与えられます。

はり師ときゅう師の試験は、別のものですが、ほぼ全ての方が、はり師ときゅう師を同時に受験しているようです。※なお、中国での資格取得や経験は、受験資格に考慮されないのので、注意してください。

< 考核概要 >

考核毎年举行一次（往年均在 2 月）。实施考核的地区为：北海道、宫城县、东京都、新潟县、爱知县、大阪府、广岛县、香川县、福冈县、鹿児島县。

考核科目为：医疗概论、卫生学、解剖学、生理学、康复医学、东洋医学概论、针灸理论及灸术理论等（除针灸理论及灸术理论以外，其它科目均为共同科目。想要同时考取针灸大夫、灸术大夫资格的话，只需考一次共同科目即可，另一次共同科目可免考）。考核方式为笔试，不考实际操作。针灸大夫、灸术大夫的考核费用各为 11600 日元。

及格率为 7、8 成，因此，只要针对考试好好儿学习、复习，应该没有那么难。以往试题及解答是公开的，登载于上述网页上，敬请有效利用。 <http://www.ahaki.or.jp/>

今后，高龄化进程将进一步加速，想必对于针灸或灸术的需求也会不断增加。作为一项工作，善于交际、能与任何人愉快交谈，还有手巧这类先天条件，也是十分重要的。

另外，给大家提供一条值得一听的消息：公益财团法人中国残留孤儿援护基金，向在针灸学校学习的人提供学费贷款。详细事宜敬请浏览相关网页。

<http://www.engokikin.or.jp/jigyogaiyo.htm> (K)

< 試験概要 >

試験は、1 年に 1 回（例年 2 月）実施されています。受験地は、北海道、宮城県、東京都、新潟県、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県、鹿児島県です。

試験科目には、医療概論、衛生学、解剖学、生理学、リハビリテーション医学、東洋医学概論、はり理論、きゅう理論などがあります（はり理論、きゅう理論以外は共通科目となっていて、はり師、きゅう師とも受験する場合は、一方の試験の共通科目を受験したら、もう一方の共通科目は免除されます）。試験方法は筆記試験のみで実技試験はありません。はり師、きゅう師それぞれ、受験料 11600 円です。

合格率は 7、8 割で、しっかり対策を立てて準備しておけば、それほど難しくはないと思われます。過去の問題や解答も公開されているので、積極的に活用してください。上記財団のホームページに掲載されています。 <http://www.ahaki.or.jp/>

今後、さらに高齢化が進み、鍼や灸への需要も高まるでしょう。仕事として続けていくには、誰とでも楽しく会話ができる社交性や、手先の器用さなども大切だと思います。

また、耳寄りな情報として、公益財団法人中国残留孤儿援護基金では、鍼灸学校で学ぶ際にかかる就学資金を貸し出しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.engokikin.or.jp/jigyogaiyo.htm> (K)